

○耐震診断結果の一覧

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
■学校(小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校)								
1	三沢市立木崎野小学校(普通教室棟【第一校舎棟】)	三沢市東町四丁目2	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.28 CTU・SD=0.83			
2	三沢市立第一中学校(西・東棟【特別支援教室棟】)	三沢市松園町二丁目1-34	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.18 CTU・SD=0.73			
3	三沢市立第五中学校(西・東棟)	三沢市古間木山141-111	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.25 CTU・SD=0.76			
4	むつ市立大平小学校	むつ市大平町8-6	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.37 CTU・SD=0.49			
5	むつ市立大湊中学校	むつ市桜木町19-1	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.37 CTU・SD=0.76			
6	平川市立金田小学校(校舎【B棟】)	平川市南田中北原120-1	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.31 CTU・SD=0.76			
7	板柳町立板柳中学校(管理教室棟)	北津軽郡板柳町大字三千石字五十嵐103	学校		建替え工事中 ※新校舎仮使用中 ※旧校舎令和2年度解体予定			令和3年3月完了予定
8	野辺地町立若葉小学校(管理教室棟)	上北郡野辺地町字石神裏16	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.30 CTU・SD=0.82			
9	おいらせ町立木内々小学校(校舎)	上北郡おいらせ町染屋101-7	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.26 CTU・SD=0.79			
■病院、診療所								
10	むつ総合病院(一般病棟)	むつ市小川町一丁目2-8	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)※鉄骨が非充腹材の場合	Is/Is0=0.62 CTU・SD=0.28	建替え	未定	
11	鱒ヶ沢病院	西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字蒲生106-10	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=2.09 CTU・SD=1.17			
12	公立野辺地病院(本館棟)	上北郡野辺地町字鳴沢9-12	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=0.46 CTU・SD=0.37	建替え	未定	
■集会場、公会堂								
13	黒石市民文化会館・黒石公民館	黒石市大字内町24-1	公会堂	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.75 CTU・SD=1.00			
14	三沢市公会堂・三沢市立中央公民館	三沢市桜町一丁目6-35	公会堂	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)※鉄骨が充腹材・非充腹材の場合が混在	Is/Is0=1.83 CTU・SD=1.02			
■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物								
15	黒石市庁舎	黒石市大字市ノ町11-1	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=0.66 CTU・SD=0.39	検討中	未定	
16	平川市庁舎	平川市柏木町藤山25-6	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Is0=1.05 CTU・SD=0.47	防災拠点施設として建替	令和2年度	

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
(一財) 日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)		$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$
(一財) 日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)		$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財) 日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

- I : 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い  
 II : 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある  
 III : 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊する恐れはない。

<参考>

建物の保有する耐震性能は、 $I_s$  (構造耐震指標) という数値を算出し  $I_{s0}$  (構造耐震判定指標) と比較することにより評価します。

また、主に鉄筋コンクリート造の建物の第2次診断法や第3次診断法においては、この評価に加えて、最低限必要な建物の頑丈さについて  $C_t$  ( $C_{tu}$ )  $\cdot$   $S_D$  により評価します。

○  $I_s$  (構造耐震指標)

$$= E_o \text{ (保有性能基本指標)} \times S_D \text{ (形状指標)} \times T \text{ (経年指標)}$$

○  $I_{s0}$  (構造耐震判定指標)

$$= 0.6 \text{ (耐震評定基本指標)} \times Z \text{ (地域指標)} \times G \text{ (地盤指標)} \times U \text{ (用途指標)}$$

○  $C_t$  ( $C_{tu}$ )  $\cdot$   $S_D$

$$= C_t \text{ (} C_{tu} \text{) (累積強度指標)} \times S_D \text{ (形状指標)}$$

○  $Z$  (地域指標)

地域 (市町村)	Z
三沢市、野辺地町、おいらせ町	1.0
黒石市、むつ市、平川市、鯉ヶ沢町、板柳町	0.9

○  $G$  (地盤指標)、 $U$  (用途指標) 及び  $R_t$  (振動特性指標)

各 1.0